



# みんなでいっしょに

年長組学年だより No.3

令和3年6月4日

中央区立月島第一幼稚園

そら組 担任 西 智恵美

年長組としての生活も、早いもので2ヶ月が過ぎました。年長組ならではの様々な経験を通して、少しずつ学級・学年としてのつながりが生まれてきたことを、担任としてとても嬉しく感じています。5月は月一園や公園に出掛ける機会もあり、幼稚園とは違う環境で、自然にも触れながらのびのびと遊ぶことができました。

## 月一園で夏野菜を育てよう！

### 5月20日 苗植え・種まき

今年はトウモロコシ、小玉スイカ、オクラ、キュウリ、カボチャの5種類を育てることにしました。それぞれの苗を見比べたり触ったりして、「ざらざらしてる」「ここが膨らんでる！」など、気付いたことをたくさん伝えてくれました。苗植えでは、特に苗からポットを外す瞬間は、とても緊張しながらも慎重に取り組み、大切に育てようとしている気持ちが伝わってきました。



### 5月24日 水やり

自分たちが植えた野菜に水やりをしに行きました。自分たちが植えた苗が元気に根付いている様子を見て、子どもたちもとても嬉しそうなお様子でした。「大きくなってね」とつぶやきながら、心を込めて水やりをしていました。

定期的に月一園に出掛け、継続して野菜の生長を実際に見ることで、自然物に対する興味や、大切に育てようとする気持ちが育まれていきます。収穫までの間、できるだけたくさん月一園に足を運べるよう、今後も計画をしていきたいと考えています！



## 年長組になって レッツチャレンジ！



年少組さんが初めての検診に緊張していることを知らせると、「手伝ってあげよう」と張り切っていました。年少さんの手をつなぎ、手すりを持って階段を上がることを教えたり、「怖くないよ」と話し掛けたりして、優しくする姿がたくさん見られました。

今まで使っていた中型積み木を「大事に使ってください」と年中さんに引き継ぎました。そして、いよいよ大型積み木に挑戦！

初日は、園長と担任とで、三階建ての家を作っておきました。すると家を見て、「やりたい！」「今日できるの？」とわくわくドキドキしていました。みんなで安全な使用方法を確認して楽しみました。3階建ての屋根に登り降りする時には、ゆっくり進んだり、座って進んだりして慎重に動いていました。「ちょっと怖かったけど楽しかった！」とドキドキ感を喜んでいました。状況によって体の動きを調整して楽しめる年長児だからこそ挑戦できる遊びですね！



誕生会の司会にも挑戦しています。皆の前で言葉言うことに少し緊張している様子ですが、同じ司会の仲間と力を合わせて声やお辞儀を揃えて、頑張っています。他の司会の友達を見守り応援する姿も見られています！



## みんなで遊ぶと楽しいね！

この2ヶ月の間、ルールのあるゲームを学級のみんでたくさん楽しんできました。今、子どもたちは「ラウンドチェーン」という遊びが大好きです。簡単な振り付けと歌を繰り返し、ペアの友達が次々と変わっていく遊びです。普段の遊びの中ではなかなか関わることの少ない友達ともペアになれるので、「次は誰かな？」とわくわくしながら遊んでいます！

先日、第一公園に出掛けの際にも、「だるまさんがころんだ」や、鬼遊びをみんなで楽しみました。一人一人がそら組の一員であることを感じ、みんなで一緒に過ごす楽しい♪という気持ちをたくさん味わってほしいと思っています。



ラウンドチェーン



だるまさんがころんだ

## 友達と一緒に♪

この2ヶ月で、友達を誘ったり、積極的に「入れて」と話し掛けたりする様子がとても増えてきました。友達と一緒にいろいろな遊びの場を作りながら、集まって遊ぶことを楽しんでいます。



折り紙で作ったカエルの遊び場として、池が完成しました。子どもたちが考えて作ったウォーターライダー付き！



力を合わせて作った大型積み木の家。重い積み木を一生懸命運んで作りました！



靴取りゲーム（マス目をケンパで進み、線を踏んでしまったら中央に靴を置きます。次の子は、友達が脱いだ靴を救出していきます）で遊んでいます。「〇君がんばれ！」「取ってきてくれてありがとう」というやりとりが自然と生まれ、たくさんの靴を救出した子には大きな拍手も起きています！

バスごっこをして遊んでいます。いろいろな子が乗り降りし、その都度違うメンバーで遊ぶことを楽しんでいました。



## …とはいっても まだまだ かかわり方の修行中

年長組になってお兄さん・お姉さんになったように感じても、まだまだ「自分が中心」の子どもたち。友達と楽しく遊びたいけれど、自分の思いを通したいという気持ちも強いです。時にはきつい言葉を使ってしまうことや、手が先に出てしまうこともあります。

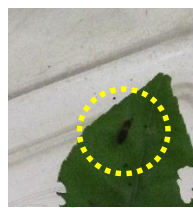
しかし、教師が間に入り、「どのように言えばよかったのか」を一緒に考えていると、落ち着いて自分の言動を見つめ直し、悪かったと思ったことはしっかりと謝ることもできます。

友達の気持ちを知り、相手の立場に立って考えることができるようになるには、このようないざこざの中で学んでいくことが欠かせません。まだまだ「修行中」の子どもたちですが、もちろんけんかをしてしまっても、「やっぱり友達と遊ぶのは楽しいな」という気持ちで一日を終わることができるようにしていきます。お子さんのことをご相談や、幼稚園での様子についてご質問のある方は、降園時にお気軽にお声掛けください。

## いきものって不思議だね

年長組の廊下には「生き物コーナー」があり、金魚や赤ちゃんザリガニを飼育しています。また、アゲハチョウの幼虫やカブトムシの幼虫など、その時期にしか見られない生き物を飼育することもあります。

子どもたちの観察力はとても鋭く、ちょっとした変化にもよく気付いています。「虫は苦手なんだ」と言っている子も、飼育ケース越しに様子を見ては、「なんか可愛くなってきた」と、少しずつ愛着をもち始めているようです。生き物の様々な瞬間に立ち会い、自然に対する興味、命を大切にすることを育む場になってほしいと願っています。



飼育ケースを覗いて様子を見ています。

アゲハが羽化し、みんなで逃がした後、再びアゲハチョウがみかんの木に卵を産み付けにきているのを発見！（写真左）「きっと飼っていたアゲハがお母さんになって戻ってきたんだ」と大騒ぎ。そして週明け、卵は孵化し、とても小さな幼虫が生まれていました！（写真右）

